

2021年9月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ブ ラ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 河 合 達 明
(コード番号：2424 東証・名証一部)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 河 合 智 行
(TEL 052-446-5338)

通期業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2021年6月14日に公表いたしました2021年7月期の通期業績予想と本日開示の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2021年7月期通期において、特別損失を計上いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想と実績値の差異について

(1) 2021年7月期通期業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,321	200	370	267	47.34
今回発表実績 (B)	9,343	327	509	169	30.02
増減額 (B-A)	22	127	138	△97	
増減率 (%)	0.2	63.9	37.4	△36.6	
(参考) 前期実績 (2020年7月期)	7,987	△989	△817	△1,183	△208.56

(2) 差異が生じた理由

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言等の発出に伴う業績への影響を想定し、2021年6月14日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」において各利益で下方修正をいたしました。売上高は想定内で推移し、営業利益及び経常利益においては、予想値を大きく上回る結果となりました。売上原価効率化の取り組みや販管費削減による損益分岐点の引き下げ効果もありましたが、第4四半期会計期間において、過去最高の施行件数の実施、営業利益及び経常利益の計上に至ったことで大きく挽回する形となりました。一方で、当期純利益は減損損失の計上により予想値を下回る結果となりました。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

当社が保有する西日本の一部固定資産において、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等による影響により、婚礼施行の延期、挙式・披露宴受注数や招待者数減少が継続し、収益性の低下がみられたため「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて将来の回収可能性を検討した結果、減損損失 221 百万円を計

上いたしました。減損損失の内訳は、建物 183,017 千円、構築物 1,912 千円、工具、器具及び備品 36,778 千円であります。なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、対象資産は売却見込がないため、正味売却価額はゼロとしております。

以上